



# 二宮まもる通信

発行責任者  
福岡県議会議員  
二宮眞盛

北九州市小倉南区舞ヶ丘 3-3-26  
VOL3-4 平成 20 年 4 月発行

## 3月議会報告 (公明党代表質問から抜粋)

### ①平成 20 年度当初予算案について問う。

県税の主要なものが法人二税という景気に左右される税で構成されていることから、今後、県の収入の増加や安定化は困難だと推察するのですが、今後の県の財政基盤を安定させるための方策について知事はどのように考えておられるのか伺います

(知事) 中小企業の振興、成長産業の育成など所得の高い雇用を生む強い産業づくりに取り組み県税収の増加を図る必要がある。分権時代に相応しい税制を早期に確立していく必要があります。

### ②当初予算案の評価について。

(知事) 職員数の削減や事務事業の見直し、建設事業費の県負担の抑制など本県の行財政改革を前進させるものと考えております。

### ③医療費補助制度の改正に伴う 65 歳以上の障害者の自己負担を最小限に激変緩和策を求める。

(知事) 10 月実施までの間に障害者の実態をよく調査・分析して実態に沿った方針で臨みたいなどと答弁しました。

### ④加工食品等の監視体制について

(知事) 県内 13 保健福祉環境事務所に 51 名の食品衛生監視員を配置しており、監視指導計画に基づき、食品製造業者等に対し監視指導を行うとともに食品中の食中毒細菌や食品添加物等の検査を実施しております。

### ⑤全国学力調査結果について。

(教育長) 全国平均を下回るとともに、地域間格差がみられたことは大変残念であり、早急にその改善に取り組むべき課題であると考えています。

### ⑥学力調査結果 地域間格差の解消について

(教育長) 課題を抱える市町村や学校への支援が必要と考えており、学力向上新戦略を策定し、教員の指導力の向上をはじめ、様々な取り組みを行います。

## 県が医療費補助制度を改正

3 月定例会 (2/27~3/28) の中で県から市町村への医療費補助制度が提案され改正されました。

①乳幼児医療費の通院の補助対象が小学校入学前まで拡大

②母子家庭への医療費補助を父子家庭にも拡大

③重度の身体・知的障害を対象としていた医療費補助に重度の精神障害者を加えるなどの内容です。

公明党がかねてから主張していた医療費補助制度の拡充が図られました。10 月から各市町村が実施する予定です。

一方で少子高齢社会のなかでも持続可能な制度とすることや負担の公平性などを理由に乳幼児医療、障害者医療に所得制限を設けるほか、65 歳以上の障害者医療に於いて自己負担を徴収、一人暮らしの寡婦への助成を廃止するなどの内容です。



二宮まもる

家族 妻と子供 3 人の 5 人家族

趣味 読書と釣り

モットー 大衆と共に、心こそ大切なれ

#### 党役職

公明党福岡県本部組織局長  
北九州総支部 副総支部長

#### 議会

建築都市常任委員会 委員長  
議会運営委員、水資源対策調査特別委員会委員